

日本共産党

市原市議団

ニュース



市原市議会議員
駒形 やす子



市原市議会議員
福田まさひこ



市議団 HP

今議会最大の焦点である「ごみ処理手数料の有料化」議案は、議会最終日に継続審査動議が提出され可決されました。

千葉日報にも2回掲載されるほど本議案は大きな問題となりました。物価高騰下での実施であること、市民周知の不十分さを問題として、多くの会派が反対の意向を示したことによります。

市原市は議案否決を懸念し、継続審査を議会側に伝えてきていました。

1. ごみ処理手数料の有料化（ごみ袋に処理料金を上乗せ）とは

市原市はごみステーションに排出時に使用されてるごみ袋は、指定ごみ袋制を導入しているものの、袋製造コストのみの価格であり、ごみ処理手数料は含まれておらず、2027年4月より有料化するとしています。現行1リットルあたりの袋の値段を4倍化し、市の歳入見込みとして2027年度は年間6億4千万円としています。

| | |
|-----|--|
| 現状 | 0.25 円/1 ℓ = 45 ℓ袋約 10 円 |
| 有料化 | 1 円/1 ℓ = 45 ℓ袋 45 円（10、20、30 ℓ袋も販売予定） |

2. どこが問題か？

- ①市原市の「条例」では家庭ごみの処理は、「市がしなければならない」とあります。市の責任、税金で処理すべきところを、新たに市民に負担を求めることとなります。物価高騰から市民の暮らしを守るべきです。
- ②新しいごみ焼却場建設、運営管理費に多額の歳出予算（25年間で総額850億円）を計画しており、2032年度に市債残高が過去最大の1000億円を超えます。財政状況の悪化を理由に市民に負担増を求めるのはおかしいとして、市原市の実行計画にある各種事業規模の見直しを市に要望しています。

3. 今後 継続審査においても市民の立場で審議に臨んでいきます。

来年6月には市議会選挙があります。今こそ市民の声を市議や市議会に届けましょう。

発行:日本共産党市原市議団
連絡先 市原市平田 651-1
電話 0436-21-4785